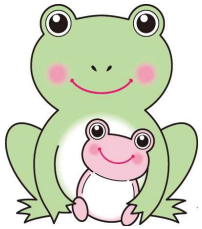
ケロちゃん通信 第25号

2017年 7月



ながおか医療生協
あたごこどもクリニック
〒940-0038　長岡市琴平１丁目２－１
電話番号 0258-36-5810
http://www.nagaoka-iryou-seikyou.jp/

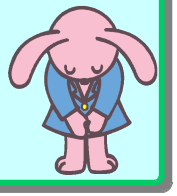
☆梅雨のじめじめした日々が続いています。梅雨明け後も猛暑になるようなので心配です。手足口病、ヘルパンギーナ、プール熱、とびひなどが流行ってきました。ご注意下さい。入り口の看板のまわりのヒペリカムもプランターの花も元気に咲いてくてうれしいです。

☆5月に一般診療の予約システムを開始しました。日に日に利用者が増えている感じです。今までは朝一番に来院して順番待ちしていただいた方も、自分の来院したい時間に予約していただくことにより、朝の混雑が緩和され、待合室も混み合うことは減ったように思います。予約システムの効果は出ていると思います。秋からの繁忙期に向けて、予約システムの更なるご利用よろしくお願いいたします。

☆7月１日より予防接種・健診も、Web予約受付を開始予定です。
Web予約すると、変更・キャンセルもご自分で出来るようになりますので、便利です。ご利用よろしくお願いいたします。

☆皆様に温かく見守っていただいたおかげで、開院して２年が過ぎました。ありがとうございました。これからも地域のこどもたち、お父さん、お母さんのためにがんばりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

２ 周 年



7月の診療予定
本間医師（7日午前/午後・21日午前）

7月の休診予定：ありません

診療案内

受付開始：一般診療は午前8時30分、午後15時30分です。

☆一般診察
直接来院の場合は、診療時間内に受診してください。
予約希望の場合は、前日0:00からスマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください。
付き添いのお母さん等が体調不良の時も、お気軽にご相談ください。緊急の場合や、特別な相談がある場合は、まずお電話ください。

☆予防接種、乳児健診：スマホ、携帯、PCより予約システムでご予約ください（２ケ月後の予約までできます）。今まで通り、窓口または電話でもご予約できます。

☆専門外来
①発達外来（第2・4火　13:30～15:30、予約制）　小児神経専門医による診療を行っています。言葉が遅い、コミュニケーションがとりづらい、落ち着きがない、かんしゃくを起こしやすい等の発達障害をご心配されている方、ひきつけ、チック、夜尿症などの発達や神経に関する心配がある方は、お気軽にご相談ください。
②アレルギー外来（第1・3金　9:00～12:00　予約も可）
アレルギー専門医による診療を行っています。食物アレルギー、ぜんそく、アトピー性皮膚炎、花粉症等で心配がある方は、ご相談ください。

☆発達外来、アレルギー外来受診希望の場合には、電話で予約をお願いいたします。（Web予約はできません）

☆生協こどもクリニックとも協力して診察を行っています。病児保育室「すこやか」を利用希望の方は、当院を窓口にして利用することもできます。

溶 連 菌 感 染 症

溶連菌感染症とは

・Ａ群β溶血性連鎖球菌（溶連菌）という細菌がのどに感染して、発熱、のどの痛み、発疹、腹痛などの多彩な症状がでます。
・多くは「飛沫感染」でうつる病気で、潜伏期間は2-5日です。

症状は

年齢によって症状は異なります。
＜溶連菌性咽頭炎＞
・生後６カ月くらいまでは、発熱、鼻水などの風邪症状で、母親からもらった免疫のおかげで軽症ですむことが多いといわれています。
・６カ月から３歳くらいまでは、発熱、鼻水、不機嫌などの風邪症状ですが、症状は長引くことが多いようです。急性中耳炎、頸部リンパ節炎の合併も認められます。
・４歳以降では、高熱、のどの痛みで急激に発症します。のどは真っ赤に腫れ、扁桃には黄白色の斑点もみられ頸部リンパ節の腫れも見られます。頭痛、吐き気などの症状を伴うこともあります。

＜しょう紅熱＞
・舌が赤くなり小さな隆起物が生じたり（いちご舌）、体に細かい発疹ができる場合があります。これを猩紅熱（しょうこうねつ）といいます。この発疹やイチゴ舌などは約１週間程度続くことがあります。回復期には、手足の皮膚に剥離を生じることもあります。川崎病やＥＢウィルス感染症との見極めは難しい場合もあります。

診断は

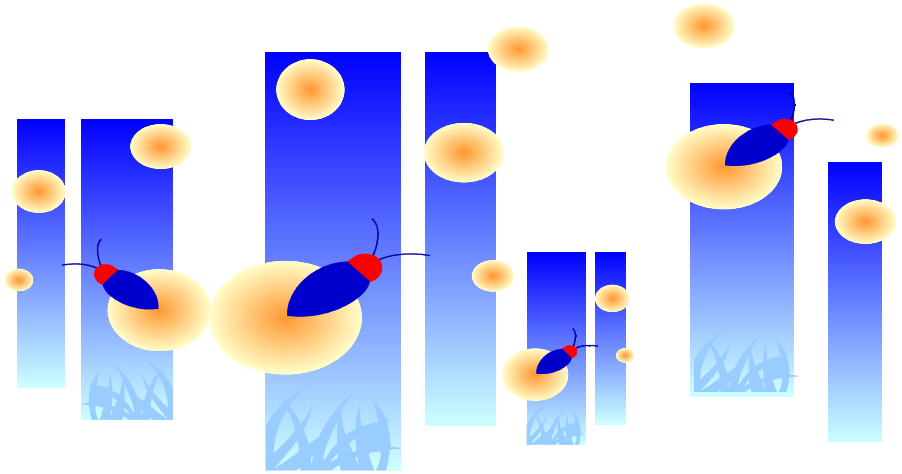
・症状および扁桃の溶連菌迅速検査または培養により診断されます。必要に応じ血液検査も必要になる場合もあります。

治療は

・適切な抗菌剤を10日間内服する必要があります。通常１－２日後には解熱し、のどの痛みもなくなります。しかし、症状がなくなったからといって薬の内服を途中でやめると、再発したり合併症（腎炎、リウマチ熱など）を起こすこともあります。

合併症

まれに糸球体腎炎、リウマチ熱の合併があります。とびひ、丹毒などの皮膚感染症を起こすこともありますので注意してください。

注意

・腎炎の合併症の有無を調べるために検尿が必要です。当院では感染2-4週後に調べています。尿検査のセットをお渡ししますので、時期が来たら早朝尿を持参して受診してください。
・兄弟にも同じような症状があれば、受診して下さい。
・登園・登校は、抗生剤服用後、1-2日たって解熱していれば許可されます。
・２日以上たっても熱が下がらない場合、のどの痛みで水分も飲めない場合、1-2週間して元気がない・むくんでいるというような場合は、もう一度受診して下さい。